

活動レポート

1. 大会エントリー

機械工学コース3年 堀田伊吹

1/22（月）12:00～より大会エントリー手続きを行い、2/2に参加校リストが公開されました。今年度から開催地が中部国際空港セントレアに変わったこともあり、例年よりも海外大学の参加が多くなっています。コロナウィルス流行以前の強豪校や中国大会の強豪校も参加を予定しているため、競争はより苛烈になると思われます。

今年度からはICVクラス車両のナンバリングが変更され、千葉大学はカーナンバー「C07」となる予定です。昨年度に引き続き一桁代のカーナンバーを獲得することが出来ました。大会エントリーが完了し、春休みになったことでフレーム製作も本格的に進行し、電装やエアロパーツの製作にも着手しています。

大会までは残り七ヶ月ほどとなりましたが、持てる力を発揮出来るようテクニカルディレクターとして努力して参ります。

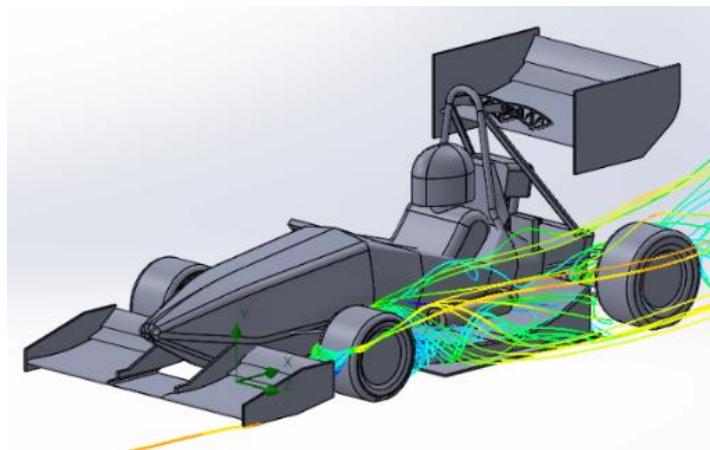


The screenshot shows the Formula SAE Japan website interface. At the top left is the Formula SAE Japan logo. At the top right is a green banner with the text "学生フォーミュラ支援システム Team". The main content area has a dashed horizontal line above it. In the center, there is a white box with a blue header "エントリーを受けました" (Entry received). Below the header, the text reads "登録されたキャプテンとFAのアドレスにメールが送付されますので内容をご確認ください。" (An email will be sent to the registered captain and FA address, so please check the content). Below this text is a red circular button with a white arrow pointing right, labeled "ログイン画面に戻る" (Return to login screen). At the bottom of the page, there is a footer with the text "公益社団法人自動車技術会 学生フォーミュラ大会 事務局 formula@jsae.or.jp" and "Copyright © Formula SAE Japan All Rights Reserved."

2. エアロデバイス設計

理学部化学科2年 大川晃

1月にはエアロデバイスの細かな設計と発注を行いました。弊チーム車両の特徴としてカーボン製のフルエアロを搭載しているという点があります。今年度は昨年度車両の問題点を改善しつつさらなる高パフォーマンスを目標に設計を行いました。具体的には、エアロデバイスによる空力の前後バランスの改善、大きなドラッグを生み出していたパーツの再設計、揺れやぐらつきの多かったパーツの締結方法の再考などが挙げられます。これらの設計はコンピュータによるシミュレーションを用いて評価しております。最終的な設計の終了まではあと一息ですが、おおよその形は見えてきており、昨年度よりいい数値が得られております。2月以降は製作も始まります。マシンへの早期の搭載を目指し、これからも活動に励んでまいります。



シミュレーション結果の一例

3. フレーム製作進捗

機械工学コース 1年 横溝乃羽

フレーム製作に伴い、パイプのすり合わせを行っています。フロント相当は年内に終わり、年が明けてからはリアとミドルの製作を行っています。フロント部分のすり合わせはスムーズにできていましたが、大学の試験が1月末にあり活動をストップしていたため、テスト明けの作業はかなり苦労しました。中でも節などの多くのパイプが交わる部分は難しいため、すごく時間がかかりました。春休みになりかなり作業が進んだため、フレームのすり合わせは残りわずかとなりましたが、サスペンションのアームのすり合わせは残っているので、フレームの経験を活かして製作に努めてまいります。



4. アーム製作

機械工学コース 1年 笹目優樹

大学の授業期間が終了したため、いよいよ本格的にアームの製作が始まりました。作業ごとに細かく日程を立て、メンバー同士で進捗を把握しながら計画的に進めています。工場での旋盤やフライスを使った加工はまだまだわからないことばかりですが、先輩方に教えて頂いて基本的な加工はできるようになってきました。小さな部品でも思った以上に時間がかかり、製作の大変さを思い知りました。安全第一、急がば回れの精神で、時間にも心にも余裕をもった製作を行ってまいります。3月末に予定通りシェイクダウンをするマシンの姿をお見せできるよう、部員一同誠心誠意努力して参ります。



CF24 Timeline vol.3

1月

4日 株式会社テイン様 カレンダーご支援
ソリッドワークス・ジャパン株式会社様 カレンダーご支援

17日 住友電装株式会社様 電装部品ご支援
ヤマハ発動機株式会社様 エンジン部品ご支援

29日 株式会社タンガロイ様 工具ご支援
株式会社ロブテックス様 工具、工具箱ご支援

From Hat
Pipe Plate
CF24

活動レポート

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心より御礼申し上げます。

企業・団体スポンサー様

※敬称略（五十音順）

旭化成建材株式会社	株式会社日下製作所
アンシス・ジャパン株式会社	株式会社佐々木工業
池田金属工業株式会社	株式会社玉津浦木型製作所
VITA CLUB 株式会社	株式会社タンガロイ
HPC システムズ株式会社	株式会社ティン
エヌ・エム・ビー販売株式会社	株式会社デンソー
エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	株式会社東日製作所
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	株式会社トヨタレンタリース千葉
株式会社 APJ	株式会社中村機材
株式会社 IDAJ	株式会社ノウム
株式会社アネブル	株式会社ハイレックスコーポレーション
株式会社石川インキ	株式会社橋本屋
株式会社エッチ・ケー・エス	株式会社深井製作所
株式会社エイチワン	株式会社富士精密
株式会社江沼子エン製作所	株式会社プロト
株式会社梶哲商店	株式会社ミスミグループ本社
株式会社キノクニエンタープライズ	株式会社ユタカ技研
株式会社ケイズデザインラボ	株式会社レゾニック・ジャパン

株式会社ロプテックス

有限会社齊藤プレス

株式会社ワークスベル

有限会社プラスミュー

株式会社和光ケミカル

有限会社丸忠木型製作所

協和工業株式会社

有限会社茂原ツインサーキット

京葉バンド株式会社

合同会社葵不動産

Special Thanks

ZAN 株式会社

Team TRS

住友電装株式会社

千葉大学工学部実習工場

ソリッドワークス・ジャパン株式会社

千葉大学工学部附属創造工学センター

千葉大学工学部

ホンダマイスタークラブ

千葉大学 工学同窓会

前澤友作スーパーカープロジェクト

千葉大学材料加工学研究室

レーシングガレージ ENOMOTO

千葉トヨペット株式会社

日本軽金属株式会社

個人スポンサー様

日信工業株式会社

石塚 祐也

本宮 曜

日本精工株式会社 (NSK)

上野 涼

米川 雄大

日本製紙クレシア株式会社

江澤 成毅

永島 拓己

日本発条株式会社

及川 智紀

日野自動車株式会社

岡田 和大

マーレジャパン株式会社

小川 和也

マスワークス合同会社

兼坂 洋祐

まるたや

窪田 十也

マレリ株式会社

戸塚 雅也

ヤマハ発動機株式会社

山岸 雅人

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP 活動報告書 2024 年 vol.3 [1月]
千葉大学フォーミュラプロジェクト
2024 年度テクニカルディレクター 大川晃
Mail: 22s3041m@student.gs.chiba-u.jp
URL : <https://chiba-formula.xrea.jp>